

はじめに

地域住民一人ひとりが、人としての尊厳をもって地域の中で、その人らしい自立した生活を送っていくためには、地域に関わる人たちによる「支えあう地域づくり」が必要です。

それを実践・実行していくために、佐賀市社会福祉協議会では、佐賀市と一体となり、「第2期 佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」（平成23年度～27年度）を策定し、各校区社会福祉協議会を主体に「支えあう地域づくり」の取り組みが展開されているところです。

この「支えあう地域づくり」を具体的に実現するため、本会では、平成23年度より、計画の『基本目標』である《人的ネットワークづくり》に基づき、～「向こう三軒両隣」という昔ながらの近所づきあいの復活を目指す～ というスローガンのもと、地域のご近所力を高めるため、地域の支えあい・助けあい活動を支えてくださる担い手づくりを進めてまいりました。

特に、計画の中で「重点プロジェクト」として掲げている『ちょこっとボランティア』、『高齢者を見守る地域づくり』の取り組みについては、校区社会福祉協議会を中心に進めてきた結果、『自分たちの地域は、自分たちで』という地域力の芽生えにつながったように思われます。

この事例集では、佐賀市内で取り組まれている「支えあう地域づくり」の活動として、8つの校区で実践されている事例を紹介し、そこで培われた成果とこれからの課題、それぞれの校区が地域の実情に応じて、手法を考え、取り組んできた経過が、実践者の言葉として、その時その時の思いとともに綴られています。これから、地域で新たに活動を始めたり、活動に参加したりするきっかけとなれば幸いです。

最後になりますが、本事例集の作成にあたりご協力いただきました多くの皆様に、心から感謝申し上げます。

平成27年3月

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会
地 域 福 祉 課